投　資　事　業　評　価　調　書　（新規）

課室名	砂 防 課	記入責任者職 氏名 （担当者氏名）	砂防課長　阪本　哲 （林　任輝）	内線	4459 （4465）

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円 約 1．7
		通常砂防事業 星尾川（ほしお）	赤穂郡上郡町 尾長谷（おながだに）	（内用地補償費）	（約 7百万円）

所　在　地	着工予定年度	完成予定年度
赤穂郡　上郡町　尾長谷	H15年度	H17年度

事　業　目　的	事　業　内　容
○土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命・財産と災害弱者関連施設である児童養護施設を保全する。	・砂防堰堤工　　1基 （H＝12.5m，L＝50.7m）

評価視点	
(1)必要性 ○安全・安心	・星尾川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は、急峻な地形であり、近年の降雨で渓流の荒廃が進み、崩壊土砂が渓流中に堆積しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象：人家＝23戸、寺院、公民館、町道、田畑＝2.6ha 災害弱者関連施設＝泉心学園（児童養護施設） 泉心学園寮 2棟
○地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な利用促進が図れるようになる。
○快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安全で快適な生活空間を提供する。
○その他	・地元からの要望が強く、土砂災害に対する地元の認識も高い。
(2)有効性・効率性 ○有効性	・人命・財産（人家23戸）及び災害弱者関連施設である児童養護施設（泉心学園）、寺院、公民館、町道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
○効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・人家等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家23戸と多く、地域の福祉拠点である児童養護施設（泉心学園）がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって渓岸浸食等荒廃が進み、土砂流出の危険性が高い。 ・このため尾長谷地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。